

# 尾田蒔中だより

平成30年11月30日(金)第12号

秩父市立尾田蒔中学校

〒368-0056 秩父市寺尾2006番地

Tel 0494-23-9234

【学校教育目標】 学習に励み 進んで行動する 心豊かなたくましい生徒

\* 尾田蒔中学校のホームページに、学校の最新情報を掲載しています。是非ご覧ください。

## 自分に負けず、誠実に努力を続けよう！

校長 根岸 力

師走(しわす)、寒くあたたかい季節です。中学校でも2学期期末テストが終わったばかり。3年生は進路希望の最終確認。ほとんどの生徒が高校受験に向け、学習に集中していく大切な時期です。この時期に、自分としっかり向き合い、目標をもって努力できるかが、今後の人生に大きく影響してきます。どの高校に合格するかではなく、何のため、何を、どう努力するかが大切です。

秩父は夜祭が終わると急激に冷え込むといわれます。それでも、その寒さに負けず、秩父の人達は頑張って生きてきました。誠実さと根気強さは秩父の人達の誇るべき気質だと私は思っています。

『かあさんの歌』 (窪田 聡 作詞) ※2番略

かあさんが 夜なべをして 手ぶくろ あんでくれた  
木枯らし吹いちゃ 冷たかろうて せっせとあんだだよ

ふるさとの便りは届く いろりのにおいがした

かあさんの あかぎれ痛い 生みそをすり込む

根雪もとけりゃ もうすうぐ春だで 畑が待ってるよ

小川のせせらぎが聞こえる なつかしさがしみとおる

作詞の窪田さんが、高校卒業後に長野から埼玉に出てきた時の歌です。昭和31年の歌ですが、母親の愛情が胸に迫ってくる名曲です。今は100円で手袋も買えます。あかぎれで生みそをすり込む人もいません。でも、自分の事より子どものことを考える親の心は、今も昔も変わりません。

しかし、人は、ややもすると気持ちが緩んで自分に甘くなり、努力することをしなくなります。窪田さんは、母親から届いた小包を開けてこの歌を作ったということです。ふるさとの情景が熱く目の前に映し出されたことでしょう。親の思いはいくつになっても子どもの心を動かすものです。孤独でつらい時、寂しいような時こそ、それが支えとなり、子どもは頑張れるものだと思います。

夜も長くなり、期末テストも終り、これから自由に過ごせる時間が多くなります。家庭での時間をどう使うかは自分次第です。生徒諸君は自分の弱さに負けずに、誠実に努力を続けてください。

『尾田蒔ふるさとかるた』に、「礼儀よく 父母に孝行 与右衛門さん」という札があります。父親が難病で床に伏し、母親も病気で身体が不自由。そんな中、両親に薬を買って与えるために、畑仕事に精を出し、家を守ったという与右衛門さん。その生きざまは、まさに尾田蒔の誇りです。誠実に生きることが最高の親孝行なのかもしれません。努力は、自分を裏切ることはありません。



孝子与右衛門 孝行畑の碑

生徒総会より

11月12日(月)に生徒総会が開催されました。前生徒会の報告と総括、現生徒会活動方針をはじめ、前期委員会の報告と後期活動方針について話し合われました。総会に臨む姿勢や態度が素晴らしかったです。協力しようという気持ちが伝わってくる総会でした。

前生徒会活動総括

平成29年度後期～平成30年度前期

スローガン 百花斉放～笑顔・けじめ・努力!輝け!尾中生～

「百花斉放(ひゃっかさいほう)」とは、「様々なものが、自由かつ活発に本領を發揮すること」、という意味です。現在の尾田蒔中は、体育祭や文化祭の行事などにおいて、チームやクラスで協力・団結し素晴らしいものをつくりあげることができていると思います。

協力・団結して行事をつくりあげることとはとても大事なことです。日頃の授業や清掃など、普段の活動に手を抜かず取り組んでいくことが一番大事です。これらは一人一人が自分のやるべきことを考え、自主的に行動できるようになることが必要だと考えます。そのため、今期の生徒会では、一人一人が自分の力を出し切って(本領を發揮して)、楽しくかつけじめある学校生活を送ってほしいという願いを込めて、このスローガンにしました。皆さんの「活動する場」であり、「生活する場」であり、「生き方を学ぶ場」である尾田蒔中学校を、「生徒一人一人が輝き、自分たちの活躍を誇れる学校」にしていけるよう、これからも全校生徒の皆さんで協力して、頑張っていきましょう。

生徒会活動方針

平成30年度後期～平成31年度前期

スローガン 前進～小さな一歩 大きな成長～

今尾田蒔中は生徒数の減少など、変化のときを迎えています。生徒数が減少して行事なども見直さなくてはいけない部分が出てきている一方、人数が少ないからこそできること、人数が少ないからこそ味わえる一体感などもあると思います。

生徒会本部では、生徒のみなさんがより積極的に活動に参加できるよう、昨年度から日頃の活動を少しずつ工夫や変化を加えながら実施してきました。そして、今期もあいさつや時間を守るなど、根本のところを大事にしながら、変えられるところ、変えたほうがいいところを少しずつ改善しながら今後も活動をしていきます。

これは生徒会活動に限らず、普段の授業や部活動でも同じことがいえると思います。すぐに結果は出ないかもしれませんが、1年をかけて小さな行動や変化を積み重ねていきながら、最終的に大きな変化や成長を尾中生全員で感じられるようにする、前進していく、という願いを込めて、今期の生徒会本部ではこのスローガンにしました。

尾田蒔中学校が皆の笑顔であふれ、一人一人が輝ける学校になれるよう、これからも全校生徒の皆さんで協力して、頑張っていきましょう。

活動目標

- ・誰に対しても、笑顔で気持ちのよいあいさつができる集団をつくりまします。
- ・尾田蒔中生であることを誇りに思え、校歌を一生懸命歌える学校をつくりまします。
- ・時・場・礼を意識し、あたりまえのことをあたりまえに実行することができる集団をつくりまします。

